



取扱説明書 NS-HD360DMPX/NS-HDW360DMPX
220万画素HD-SDI全方位360°カメラ
220万画素HD-SDI全方位360°街頭用カメラ

屋内 / 屋外用



NS-HD360DMPX



NS-HDW360DMPX

1. 目次

1. 目次	P3
2. 製品構成	P4
3. 各部名称と機能	P4
4. 設定	P5
4-1. 表示設定 [MAIN MENU]	P5

[MAIN MENU]	
1. VIEW MODE	P6
2. CAM CONFIG	P6
3. PTZ CONFIG	P7
4. SYSTEM CONFIG	P8
5. RESET	P9
6. SPECIAL	P9
7. SYSTEM	P9
8. EXIT	P9

4-2. カメラ設定「メインメニュー」	P10
---------------------	-----

メインメニュー	
① 1. レンズ	P10
② 2. 露出補正	P11
③ 3. 逆光補正	P13
④ 4. ホワイトバランス	P15
⑤ 5. デイ&ナイト機能	P16
⑥ 6. NR	P17
⑦ 7. スペシャル機能	P18
⑧ 8. 調整	P24
⑨ 9. リセット	P24
⑩ 10. 戻る	P24

2. 製品構成

- ・ 本体
- ・ 説明書（本紙）
- ・ 取付用ビス / アンカー
- ・ L字レンチ

3. 各部名称と機能

- ①SDI 端子（黒色）：HD-SDI・EX-SDI 対応録画装置と接続します。
 - ②電源端子（赤色）：電源アダプターと接続します。
 - ③アナログ端子（黄色）：点検用モニター（アナログ対応）と接続します。
 - ④センサー線：RS485 接続時のセンサー端子を接続します。 オレンジ色：RS485+
白 色：RS485-
- ⑤設定ボタン：設定の際に使用するボタンです。ボタンの向きは図のように設定されています。

例：本体レンズ側が「DOWN」となります。

UP =カーソルを上へ移動します。

DOWN =カーソルを下へ移動します。

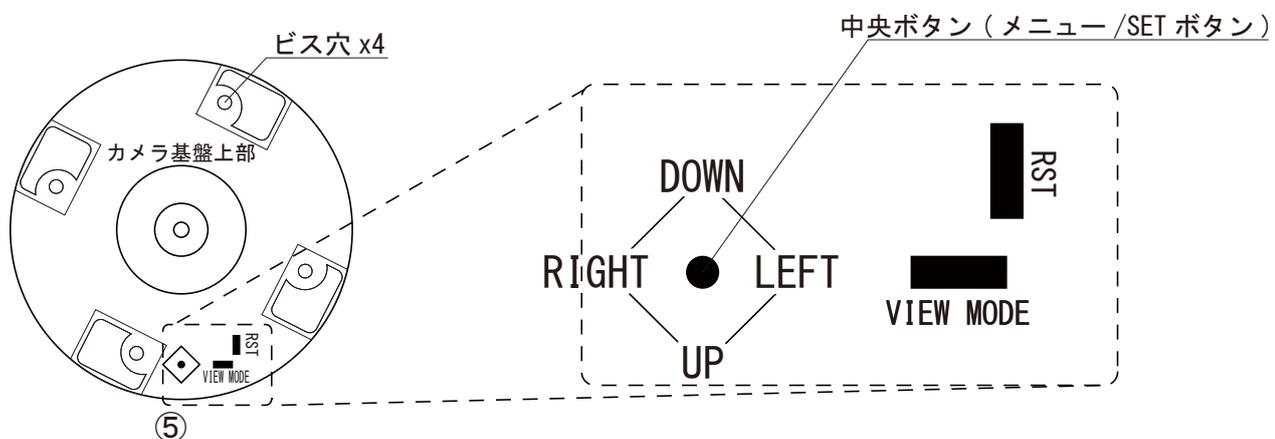
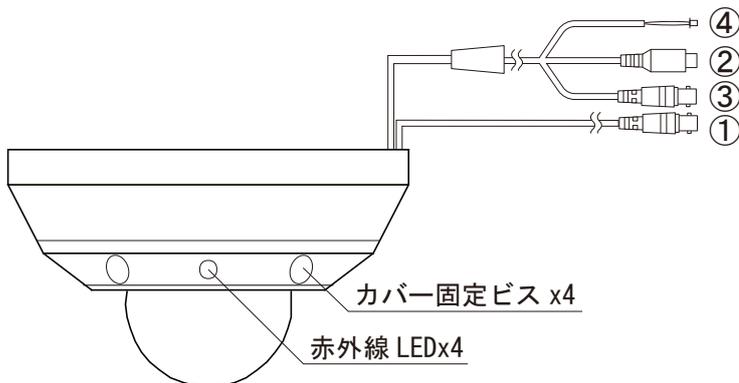
LEFT =カーソルを左へ移動します。または、設定数値を低くします。

RIGHT =カーソルを右へ移動します。または、設定数値を高くします。

中央=メニュー /SET ボタン

VIEW MODE =CH モードを切り換えます。

修理、設定、などについてはセンドバック方式にて対応させていただきます。



4. 設定

- メニュー画面の設定は本体カバー内部の「設定ボタン」で操作します。
- 設定ボタンの「中央」を押すと、画面上にメニュー画面が表示されます。
- カーソルを移動させる場合はボタンを「U(上)」「D(下)」へ倒してください。
- 設定項目や数値を変更する場合は、「L(左)」「R(右)」へ倒してください。
- 項目を決定する場合は「中央」を押します。
- 「アイコン」のある項目は次画面があります。「中央」を押して次画面へ移動します。
- 前画面に戻る場合は、カーソルを「戻る」へ移動させ「中央」を押します。
- 設定項目は、変更した時点で反映されます。画面を見ながら操作してください。

4-1. 表示設定

本機器はメニュー画面を 2 種類持っています。映像表示に関連する設定メニュー（メインメニュー1）と、カメラ機能（明暗など映り具合）に関連するメニュー（メインメニュー2）となります。

5-1 では、「メインメニュー1」について、5-2 では「メインメニュー2」についてご案内いたします。

※メインメニュー1、メインメニュー2という記載は、本書内のみです。メニューの中にはありません。

[MAIN MENU]		メニュー画面の構成は以下の通りです。設定を行う画面を選択し、設定項目を変更します。
1. VIEW MODE	ORIGINAL	1. VIEW MODE : 分割表示など、映像表示について設定します。
2. CAM CONFIG		2. CAM CONFIG : カメラ機能についての設定画面メインメニュー2を表示します。(5-2 カメラ設定参照)
3. PTZ CONFIG		3. PTZ CONFIG : 分割表示時の映像の位置調整を行います。
4. SYSTEM CONFIG		4. SYSTEM CONFIG : カメラ ID やフレームレートなどを確認します。
5. RESET		5. RESET : 表示設定内での設定を初期化します。
6. SPECIAL		6. SPECIAL : 使用しません。
7. SYSTEM		7. SYSTEM INFO : バージョン情報などを確認します。
8. EXIT		8. EXIT : 設定を終了します。

メインメニュー1

4-1-1. VIEW MODE

映像表示の方式（モード）を切り換えます。通常の 360 度表示のほか、分割表示も可能です。

ボタンを「RIGHT/LEFT」側に倒すことで、設定を切り換えます。

※「VIEW MODE」ボタンでも変更は可能です。

ORIGINAL



初期状態の映像です。

PANORAMA



映像を若干拡大し、四隅まで映像が埋め込みます。
デジタル処理のため、四隅は若干ゆがみます。

4CH



90° ずつ分割した映像を表示します。歪みのない映像となるよう補正して表示します。各分割の映像については、各々位置を調整できます。

1ORG+3CH



4CH のうち、1CH のみを「ORIGINAL」の映像に置き換えます。

2CH CEIL



パノラマの映像を上下 2 段に切り分けた映像を同時表示します。
(例：文字が反転します。)



2CH TABLE



パノラマの映像を上下 2 段に切り分けた映像を同時表示します。
(例：文字が普通に読めます。)

4-1-2. CAM CONFIG

カメラ機能側の設定メニューを表示させます。内容は後述（5-2 カメラ設定）します。

4-1-3. PTZ CONFIG

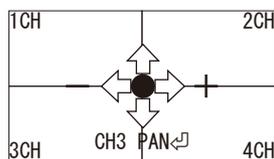
分割表示時のカメラ映像の映す範囲を調整します。各分割チャンネルに対応します。

PTZ CONFIG		
1. SEKECT MODE	CH1	CH1/CH2/CH3/CH4/2CH GELL/2CH TABLE/PANORAMA より選択します。
2. PTZ MODE	PAN	PAN/ZOOM/TILT より選択します。
3. PTZ CONTROL	↵	1. 2. で選択した内容で操作します。
4. SELECT PTZ RESET	CH1↵	1. と連動します。ボタンを押すことによって操作内容をリセットします。
5. RETURN	↵	

1. 1CH. SELECT : 設定を行うチャンネルを選択します。選択をしてから設定に進みます。

2. PTZ MODE : 変更する内容を「TILT/PAN/ZOOM」から選択します。

3. PTZ CONTROL : 1. 2. で選択したチャンネルとモードの設定画面へ、「中央」ボタンで移動します。
(1CH ~ 4CH を選択した場合、画面には同時に表示されますが、選択中の CH のみの操作になります。)



例 : CH3 PAN 選択中

—操作は下記を参照してください—

「TILT」:

映像を左右に回転させます。画面表示の指示どおり、「LEFT/RIGHT」ボタンで映像を調整します。

「PAN」:

映像を上下左右に移動します。撮影範囲以外へは移動できません。他のチャンネルの映像と重複することは可能です。
「UP/DOWN/LEFT/RIGHT」ボタンで移動します。

「ZOOM」:

デジタルズーム機能により、映像を拡大 / 縮小します。「RIGHT = 拡大」「LEFT = 縮小」となります。
完了後は、ボタンを押してメニューへ戻ります。

4. SELECT PTZ RESET : 表示 CH の設定をリセットします。

5. RETURN : 前画面に戻ります。

4-1-4. SYSTEM CONFIG

カメラとコントローラーの通信について設定します。

コントローラー (NS-3000N) を使用する際に設定を行います。

SYSTEM CONFIG		
1. CAM ID	GROUP1	GROUP1-GROUP255
2. BAUD RATE	9600	
3. FRAME RATE	1080P30	30_60_25
4. CVBS FORMAT	NTSC	NTSC/PAL
5. SAVE	NO↵	NO↵/YES↵
6. RETURN	↵	

1. CAM ID : カメラを識別するための ID を設定します。コントローラー 1 台に対して、複数台カメラを設定する際に、カメラの識別のために設定します。ID は「1(初期値) ~ 255」の間で設定します。

2. BAUD RATE : コントローラーとの通信レートを設定します。コントローラー側とは数値を合わせてください。
※カメラ設定画面内にも通信の項目がありますので、そちらの数値も合わせてください。(5-2-7. スペシャル機能「RS485」参照)「2400 ~ 9600(初期値) ~ 57600」の間で設定できます。

3. FRAME RATE : 映像の表示レートを設定します。接続する機器(モニターなど)の数値を確認してください。「1080P30/25/60」から選択できます。

4. CVBS FORMAT : 操作しないで下さい。映像方式を変更するため、映像が映らなくなる場合があります。「NTSC/PAL」より選択できますが、必ず「NTSC」で使用してください。

5. SAVE : SYSTEM CONFIG についての設定変更を保存します。

6. RETURN : 終了後は「中央」ボタンで前画面へ戻ります。

4-1-5. RESET

表示機能の設定についてのみ初期化します。初期化する場合「YES<input type="button" value="↵" />」を選択し「中央」ボタンを押します。「5-1-2CAMERA CONFIG」内の設定については影響しません。

RESET	
1. FACTORY RESET	NO<input type="button" value="↵" />
2. RETURN	<input type="button" value="↵" />

4-1-6. SPECIAL

本機にこの機能はありません。

4-1-7. SYSTEM INFO

現在のバージョン情報などが表示されます。確認のための画面です。

- F/W VERSION : ファームウェアのバージョン情報です。
- BAUD RATE : 現在設定されている通信レート数値です。
- RESOLUTION : 現在設定されている映像レートです。
- CVBS FORMAT : 現在設定されている映像形式です。
- LANGUAGE : ENGLISH

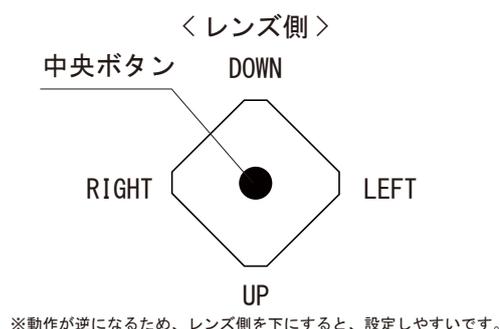
※「5-2. カメラ設定」画面内では日本語設定が可能です。

4-1-8. EXIT

設定を終了し通常画面に戻ります。

4-2. カメラ設定

- メインメニュー1[MAIN MENU]の「2. CAM CONFIG」より「カメラ設定メニュー」に入ります。
 - メニュー画面の設定は本体カバー内部の「中央ボタン」で操作します。
 - 設定ボタンの「中央」を押すと、画面上にメニュー画面が表示されます。
 - カーソルを移動させる場合はボタンを「UP(上)」「DOWN(下)」へ倒してください。
 - 設定項目や数値を変更する場合は、「LEFT(左)」「RIGHT(右)」へ倒してください。
 - 項目を決定する場合は「中央」を押します。
 - 「↵アイコン」のある項目は次画面があります。「中央」ボタンで次画面へ移動します。
 - 前画面に戻る場合は、カーソルを「戻る」へ移動させ「中央」ボタンを押します。
 - 設定項目は、変更した時点で反映されます。画面を見ながら操作してください。
- メニュー画面の構成は以下の通りです。設定を行う画面を選択し、設定項目を変更します。



メインメニュー	
① ▶レンズ	マニュアル
② 露出補正	↵
③ 逆光補正	オフ
④ ホワイトバランス	ATW
⑤ デイ&ナイト機能	オート↵
⑥ NR	↵
⑦ スペシャル機能	↵
⑧ 調整	↵
⑨ リセット	↵
⑩ 戻る	↵

メインメニュー2

1. レンズ：マニュアルで使用してください。
2. 露出補正：設置環境によって明るさの設定を行います。
3. 逆光補正：逆光時の補正について設定します。
4. ホワイトバランス：映像の色味について調整します。
5. デイ&ナイト機能：昼夜の映像について設定します。
6. NR：ノイズ除去設定を行います。
7. スペシャル機能：カメラ名などの設定を行います。
8. 調整：映像表示について設定します。
9. リセット：カメラ設定を初期化します。(言語は英語に戻ります。)
10. 戻る：設定を終了し[MAIN MENU]に戻ります。

※他の画面で前画面に戻る際は、画面内の「戻る」を選択してください。

「終了」を選択した場合、[MAIN MENU]に戻ります。

4-2. カメラ設定

① レンズ

「マニュアル」で使用します。設定は固定されています。

② 露出補正 (1)

設置した場所の光量が多い少ないによって映像が正常に映らず、設定を変更する必要がある場合に選択します。映像の明暗が極端な場合は、シャッター速度を変更してください。

※設定では、昼夜問わず補正を行いますので、実際の光量の状態で設定を行ってください。

露出補正			
1.	▶ シャッター	オート	「オート」⇨「1/30」⇨「1/60」⇨「FLK」⇨「1/240」⇨「1/480」⇨「1/1000」⇨「1/2000」⇨「1/5000」⇨「1/10000」⇨「1/50000」⇨「x2」⇨「x4」⇨「x6」⇨「x8」⇨「x10」⇨「x15」⇨「x20」⇨「x25」⇨「x30」⇨
2.	AGC	---15	「(暗)0 ~ 15(明)」
3.	SENS-UP	オフ	「オフ」⇨「オート⇩」
4.	明るさ	---40	「(暗)1 ~ 100(明)」
5.	D-WDR	オフ	「オフ」⇨「オン」
6.	DEFOG	オフ	「オフ」⇨「オン⇩」
7.	戻る	戻る	「戻る」(一つ前のメニューに戻ります。)⇨「終了」([MAIN MENU]に戻ります。)

1. シャッター

シャッター速度は、初期値のまま使用してください。それでも対応できない環境下の場合は、速度を「1/30 ~ X30」より選択してください。50Hz 地域での蛍光灯下使用時は、「FLK」を選択します。フリッカ（チラツキ）を軽減します。

2. AGC

Automatic Gain Control の略、明る過ぎてノイズが気になる場合は、数値を下げて暗くします。映像を確認しながら、必要な場合のみ設定します。

3. SENS-UP

低照度時の感度を上げ、映像を明るくします。ノイズやゴースト（動体の残像）が強くなるため、映像を確認しながら、設定してください。

「オフ」

「オート⇩」

SENS-UP (オート⇩)			
⑦	▶ SENS-UP	x8	「x2」⇨「x4」⇨「x6」⇨「x8」⇨「x10」⇨「x15」⇨「x20」⇨「x25」⇨「x30」⇨「x2」
①	戻る	戻る	

4. 明るさ

映像の輝度を設定します。輝度を一定に調整するため、昼夜の明るさの違いにご注意ください。

5. D-WDR

逆光時の明暗差を少なくする補正を行います。「オン / オフ」から選択してください。

6. DEFOG

曇り状態や逆光の強い状態での映像に対して補正を行います。

「オフ」

「オート⇩」

設定方法は次頁をご覧ください。

7. 戻る

4-2. カメラ設定

②露出補正 (2)

6. DEFOG

屋外設置時に霧や激しい雨等で霞んだ映像を赤枠内のみ補正します。

「オフ」

「オート」

DFFOG (オート)		
⑦	▶ POS/SIZE	↩
⑧	GRADATION	低
⑨	初期設定	↩
⑩	戻る	戻る

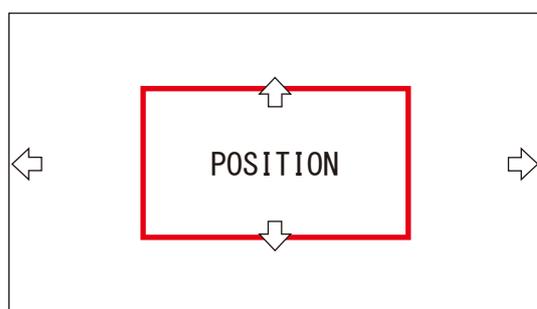
下図参照

「低 / 中 / 高 / オフ」よりコントラストの設定

「中央」ボタンを押して⑦⑧を初期に戻す

⑦「POS/SIZE」

「中央」ボタンを押す



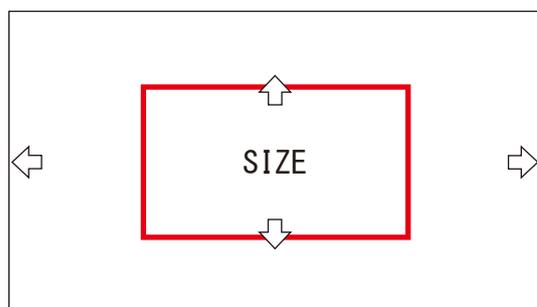
(上) 赤枠が上に移動

(下) 赤枠が下に移動

(右) 赤枠が右に移動

(左) 赤枠が左に移動

「中央」ボタンを押す ↩



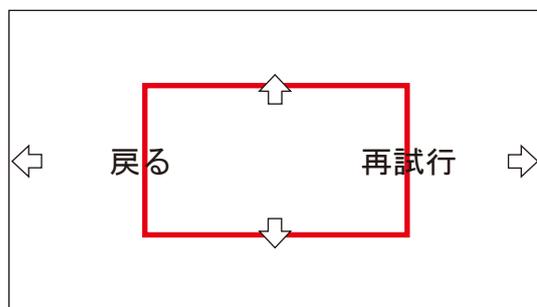
(上) 赤枠が下から上に縮む

(下) 赤枠が下に伸びる

(右) 赤枠が右側が右に伸びる

(左) 赤枠が右から左に縮む

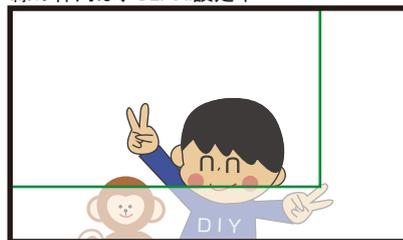
「中央」ボタンを押す ↩



(左右) 「再試行」点滅⇒「中央」ボタンで「POSITION」に戻る

(左右) 「戻る」点滅⇒「中央」ボタンで「DEFOG」設定画面に戻る

緑の枠内は、DEFOG設定中



緑の枠外は、DEFOG未設定

4-2. カメラ設定

③逆光補正 (1)

「オフ」⇒「WDR」⇒「BLC」⇒「HSBLC」

設定した範囲の逆光補正をします。変更の必要がなければ「オフ」のまま使用してください。

「WDR」:

逆光時の明部（背景）と暗部（手前などの黒潰れ）の明暗差を補正しどちらも見えるように補正します。

1. ゲイン

「高」⇒「中」⇒「低」より映像を見ながら設定します。

2. WDR OFFSET

「0 ~ 60」より設定します。

「BLC」:

逆光の強い場所で撮影する場合に被写体が暗く映ってしまう現象を補正し、鮮明度を改善します。

1. ゲイン

「中」⇒「高」⇒「低」より映像を見ながら設定します。

2. エリア選択

白いマス（ブロック）の大きさを変更したり、位置を変更します。

WDR	
1. ▶ゲイン	高
2. WDR OFFSET	---0
3. 戻る	戻る

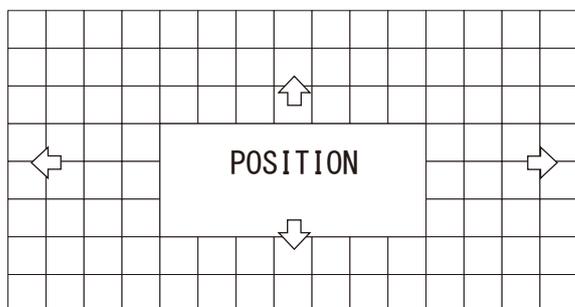
BLC	
1. ▶ゲイン	中
2. エリア選択	↶
3. 初期設定	↶
4. 戻る	戻る



BLC がオフの場合



BLC がオンの場合



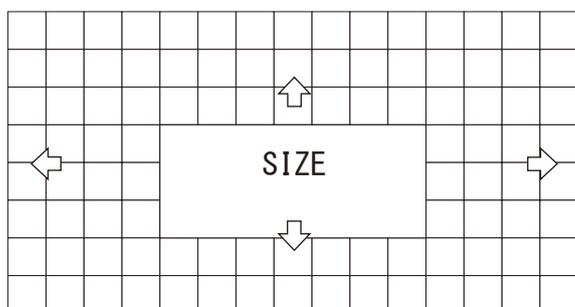
(上)1 ブロック 1 段分毎、上に移動

(下)1 ブロック 1 段分毎、下に移動

(右)1 ブロック 1 列分毎、右に移動

(左)1 ブロック 1 列分毎、左に移動

「中央」ボタンを押す ↶



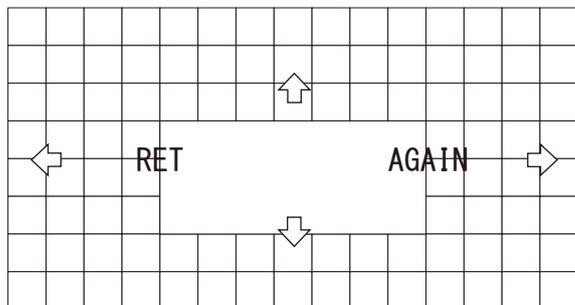
(上)1 ブロック 1 段分毎、下から上に縮む

(下)1 ブロック 1 段分毎、下に伸びる

(右)1 ブロック 1 列分毎、右側が右に伸びる

(左)1 ブロック 1 列分毎、右から左に縮む

「中央」ボタンを押す ↶



(左右)「AGAIN」点滅⇒「中央」ボタンで「POSITION」に戻る

(左右)「RET」点滅⇒「中央」ボタンで「BLC」設定画面に戻る

3. 初期設定

「中央」ボタンを押して「BLC」の設定を初期に戻します。

メインメニュー

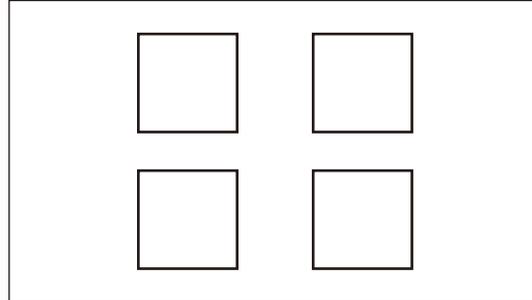
③逆光補正 (2)

「オフ」⇒「WDR」⇒「BLC」⇒「HSBLC」

「HSBLC」 その1

極端に明るい場所にマスクをかけて、暗い場所を鮮明に撮影することができます。
(暗所撮影時のライトの灯りが邪魔な場合等)

HSBLC	
1. ▶選択	ARIA1
2. 表示	オン
3. レベル	---20
4. モード	終日
5. ブラックマスク	オン
6. 初期設定	↶
7. 戻る	戻る



HLCがオフ



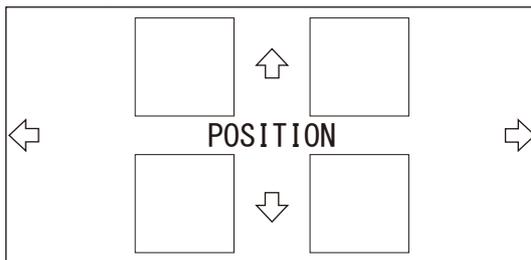
HLCがオン

1. 選択

「ARIA1」⇒「ARIA2」⇒「ARIA3」⇒「ARIA4」を選択します。選択中のエリアは点滅します。

2. 表示

「オン」: 選択したエリアの位置とサイズを変更できます。



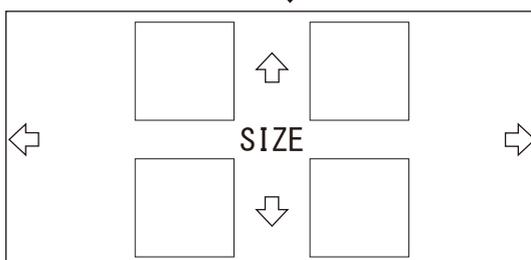
(上) 選択中のエリアが、上に移動

(下) 選択中のエリアが、下に移動

(右) 選択中のエリアが、右に移動

(左) 選択中のエリアが、左に移動

「中央」ボタンを押す



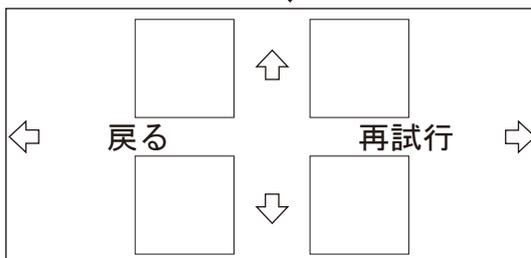
(上) 選択中のエリアが、下から上に縮む

(下) 選択中のエリアが、下に伸びる

(右) 選択中のエリアが、右側が右に伸びる

(左) 選択中のエリアが、右から左に縮む

「中央」ボタンを押す



(左右) 「再試行」点滅⇒「中央」ボタンで「POSITION」に戻る

(左右) 「戻る」点滅⇒「中央」ボタンで「HSBLC」設定画面に戻る

「オフ」: 「1. 選択」で選択中のエリアが消えます。

3. レベル

「(大)0 ~ 100(小)」: BLACK MASK の大きさを変更できます。

4-2. カメラ設定

③逆光補正 (3)

「オフ」⇨「WDR」⇨「BLC」⇨「HSBLC」

「HSBLC」 その2

4. モード

「終日」：一日中ブラックマスクをします。

「夜のみ」：夜間のみブラックマスクをします。

5. ブラックマスク

「オン」：ブラックマスクをする場合は「オン」にします。

「オフ」：選択するとブラックマスクが消えます。

6. 初期設定

「中央」ボタンを押して「HSBLC」の設定を初期に戻します。

④ホワイトバランス :

「ATW」⇨「AWC⇨SET」⇨「屋内」⇨「屋外」⇨「マニュアル」⇨「AWB」

白い被写体を撮影した時に、白く映るよう調整する機能です。

「ATW」 :

変更する必要がなければそのまま使用します。

光源（太陽など）による白色を基準とした色の変化がある場合、下記の設定をします。

「AWC⇨SET」 :

「中央」ボタンを押した瞬間の色味（白色）を基準とします。

光源が一定の環境下でのみ使用し、設置場所に応じて選択します。

「室内」 :

屋内用に自動で設定されます。

「室外」 :

屋外用に自動で設定されます。

「マニュアル」 :

マニュアル WB	
1. ▶青	---50
2. 赤	---50
3. 戻る	戻る

1. BLUE }

2. RED }

屋内 / 屋外設定でも補正しきれない色味の場合「(弱)0 ~ 100(強)」の数値で青味、赤味を調整します。

「AWB」 :

「ATW」と同様の機能です。「ATW」での補正が合わない場合のみ選択してください。

※通常「ATW」で使用してください。

4-2. カメラ設定

⑤ デイ & ナイト機能

昼 / 夜のモード切替について設定します。※設置環境に合わせて設定してください。

「オート」⇒「カラー」⇒「白 / 黒」⇒「EXT」

「オート」：昼 / 夜の切替時間を調整する場合に選択します。

D&N オート	
1. ▶ DELAY	---5
2. D⇒N (AGC)	---80
3. N⇒D (AGC)	---30
4. 戻る	戻る

1. DELAY：昼 / 夜モードの切替わり光量を「0(短い) ~ 60(長い)」の間で設定します。

2. D⇒N：昼 / 夜モードの切替わり光量を「0(明るい) ~ 100(暗い)」の間で設定します。数値を下げることで明るい状態から夜モードへ切り換えることができます。

3. N⇒D (AGC)：夜 / 昼モードの切替わり光量を「0(明るい) ~ 100(暗い)」の間で設定します。数値を下げることで明るい状態から昼モードへ切り換えることができます。

「カラー」

昼モード(カラー)の状態に固定します。 ※IR 機能付きカメラの赤外線は照射されます。

「白 / 黒」

夜モード(白黒)の状態に固定します。

B/W	
1. バースト	オン
2. ▶ IR SMART	オフ
3. IR LED	オン
4. IR PWM	---0
5. 戻る	戻る

1. バースト

「オフ」

「オン」：低照度撮影時に色信号を同期するためにバースト信号を出力します。

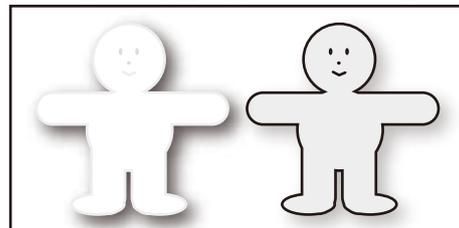
2. IR SMART

「オフ」

「オン」

IR SMART(スマート IR 機能)

夜間、赤外線 LED を使用した場合、その反射などで画像が見にくくなるのを補正



オフ時

オン時

IR SMART (B/W)	
⑦ ▶ レベル	---5
① エリア設定	↵
② 戻る	戻る

⑦レベル：「(広)0 ~ 15(狭)」

①エリア：範囲設定は、③「逆光補正」→「BLC」→「2. エリア選択」参照
※初期設定に戻る機能は、ありません。

3. IR LED

「オン」：赤外線を照射します。

「オフ」：赤外線照射しません。

4. IR PWM：「0 ~ 100」より選択します。

「EXT」：

本機では使用しません。

※注意

赤外線の乱反射がある場合は、
IR LED をオフにして、LED を使
用できないようにします。

4-2. カメラ設定

⑥NR :

画面上のノイズをデジタル処理によって低減させるノイズリダクション機能です。

2D&3D NR	
1. ▶2DNR	オン
2. 3DNR	オン↵
3. 戻る	戻る

1. 2DNR

「オン」⇒「オフ」変更する必要がある場合は初期値のまま使用します。

※2次元のノイズ補正が有効である場合、明るさが低減することもあるので、画面を見ながら調整してください。

2. 3DNR

「オフ」変更する必要がある場合は初期値のまま使用します。

※3次元のノイズ補正が有効である場合、明るさが低減することもあるので、画面を見ながら調整してください。

「オン↵」

3DNR		
⑦ ▶SMART NR	オフ	「オフ」⇒「オン↵」
⑧ レベル	---64	「0 ~ 100」
⑨ START. AGC	---0	「0 ~ 100」
END. AGC	---0	「0 ~ 100」
戻る	戻る	

⑦ SMART NR

「オン↵」

3D SMART NR		
a) ▶敏感度	---50	「0 ~ 100」
b) 戻る	戻る	

4-2. カメラ設定

⑦スペシャル機能：

カメラの名前設定、言語設定等を行います。

スペシャル機能	
1. ▶カメラタイトル	オフ
2. D-EFFECT	↩
3. 動き検知	オフ
4. プライバシーマスク	オフ
5. 言語	JPN↩
6. 欠陥画素補正	↩
7. RS485	↩
8. VERSION	150306
戻る	戻る

「オフ」⇔「オン↩」

「オフ」⇔「オン↩」

リセットすると英語に戻ります。

1. CAM TITLE

「オフ」
「オン↩」

CAM TITLE	
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	
A B C D E F G H I J K	
L M N O P Q R S T U V	
W X Y Z ▶ → ← ↑ ↓ ()	
— — _ ■ / = & : ~ , .	
← → CLR POS END	

個々のカメラに名前を付けることができます。

左右にカーソルを移動し、決定は「中央」ボタンを押します。

[CLR]→「中央」ボタン：入力した文字を全て消去します。

[POS]→「中央」ボタン：カメラタイトルの画面上の位置を決める画面に切り換ります。

上下左右に動かし位置を決めます。もう一度「中央」ボタンを押すと前頁に戻ります。

[END]→「中央」ボタン：「スペシャル機能」の画面に戻ります。

2. D-EFFECT

映像を静止画にしたり、上下左右反転します。

D-EFFECT	
ア ▶フリーズ	オフ
イ ミラー	オフ
ウ デジタルズーム	---
エ SMART D-ZOOM	---
オ NEG. IMAGE	オフ
カ DIS	---
キ 戻る	戻る

「オフ」⇔「オン」

「オフ」⇔「ミラー」⇔「V-FLIP」⇔「回転」

「オフ」⇔「オン↩」

「オフ」⇔「オン↩」

「オフ」⇔「オン」

使用しません。

4-2. カメラ設定

⑦スペシャル機能

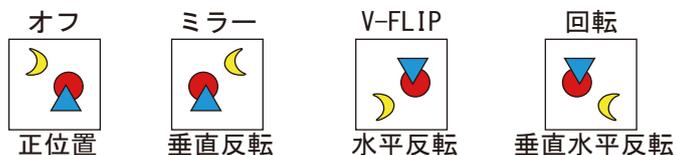
2. D-EFFECT

映像を静止画にしたり、上下左右反転します。

㊦フリーズ

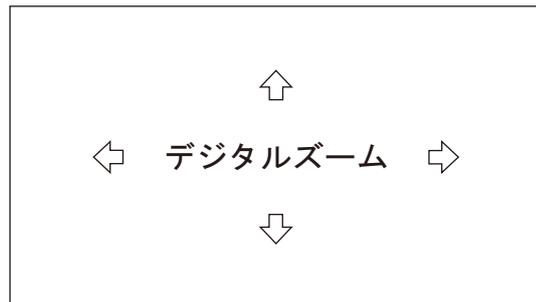
「オン」を選択した瞬間の映像を静止画にします。「オフ」で解除します。

㊧ミラー



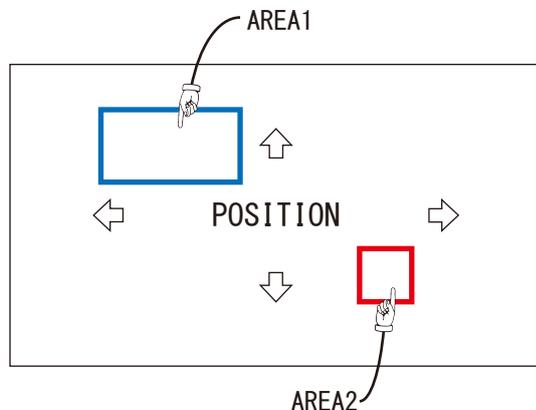
㊨デジタルズーム

	デジタルズーム		
a)	▶デジタルズーム	x2.0	「x2 ~ x62」
b)	パンチルト	↶	ズームしたい場所に移動
c)	初期設定	↶	デジタルズームの設定を元に戻す
	戻る	戻る	



㊩ SMART D-ZOOM

	SMART D-ZOOM		
a)	▶選択	AREA1	AREA1、AREA2 より選択
b)	表示	オン↶	「オン↶」⇔「オフ」 エリア枠の表示 / 非表示
c)	敏感度	---30	「0-60」
d)	デジタルズーム	x4.0	「x2 ~ x62」 エリアの拡大 / 縮小
e)	TIME	---3	「0-15」
	初期設定	↶	SMART D-ZOOM の設定を元に戻す
	戻る	戻る	



㊪ NEG. IMAGE

「オン」に設定すると、ネガフィルムの様に被写体の明暗や色が反転した画像になります。

メインメニュー

⑦スペシャル機能

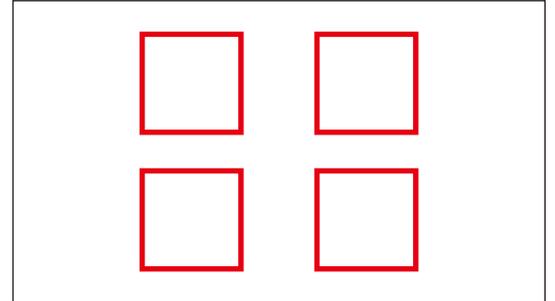
3. 動き検知

モーションの設定をします。動体検知した時に画面上に「MOTI オン DETECTED」と、モザイク等を表示してお知らせします。

「オフ」

「オン」

動き検知	
⑦	▶ 選択 AREA1
①	表示 オン
②	敏感度 ---30
③	モーションビュー オフ
④	初期設定
	戻る 戻る



⑦選択

エリア「エリア1」⇨「エリア2」⇨「エリア3」⇨「エリア4」を選択します。選択中のエリアは点滅します。（上右図参照）

①表示

「オン」：選択したエリアの位置とサイズを変更できます。

（設定方法は、範囲設定は、③「逆光補正」→「HSBLC」→「2. 表示」参照

「オフ」：「⑦選択」で選択中のエリアが消えます。

②敏感度

動体検知の感度を「（弱）0～60強」より設定します。

※「エリア1とエリア2」、「エリア3とエリア4」は、連動して同じ数値に設定されます。

③モーションビュー

「オフ」

「オン」：検知するとモザイクが表示されます。

④初期設定

「動き検知」の設定を初期値に戻します。

メインメニュー

⑦スペシャル機能

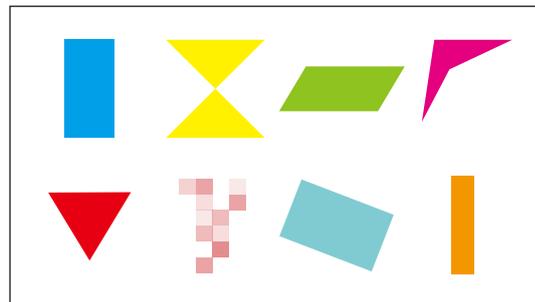
4. プライバシーマスク

画面上の任意の場所をマスキングして見えないように設定することができます。

「オフ」

「オン」

プライバシーマスク	
⑦	▶ 選択 AREA1
⑧	表示 COLOR
⑨	カラー 2
⑩	TRANS 3
⑪	初期設定
⑫	戻る 戻る



⑦ 選択

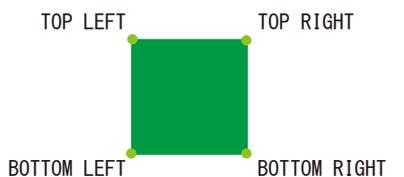
「AREA1」～「AREA8」を選択します。選択中のエリアは点滅します。（上右図参照）

⑧ 表示

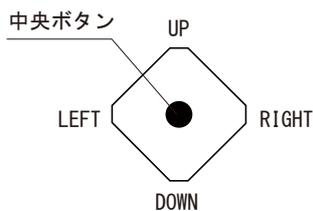
「オフ」：⑦選択で選択中のエリアが消えます。

「COLOR」(べた塗り) ≧ 「MOSAIC」(モザイク) ≧ 「INV.」(ネガ)：上記3パターンから選択します。

「中央」ボタンを押すと、「POSITION」→「TOP LEFT」→「TOP RIGHT」→「BOTTOM LEFT」→「BOTTOM RIGHT」→「戻る」再試行の順番に切り換え、選択したエリアの位置、形状の変更ができます。



設定ボタンの上下左右で形状を変えます。



<レンズ側>

⑨ COLOR

0～15の16色から選択します。

⑩ TRANS.

「0(透明)」～「3(不透明)」の4パターンから透明度を設定します。

⑪ 初期設定

「4. プライバシーマスク」の設定を（中央）ボタンを押して初期に戻します。

メインメニュー

⑦スペシャル機能

5. 言語 「JPN」でご使用ください。

※万が一日本語以外の言語に変わり、わからなくなった場合の変更方法※

- ①設定中の場合でも、最初のメニュー画面（英語の場合は 1. LENS、2. EXPOSURE…）まで戻ります。
- ②メインメニューが表示されます。
- ③メインメニューの上から7段目までカーソルを移動します。
- ④リモコンの「中央」ボタンを押します。
- ⑤スペシャル機能が表示されます。
- ⑥スペシャル機能の上から5段目までカーソルを移動します。
- ⑦リモコンの左右ボタンどちらかを動かします。
- ⑧「JPN」でリモコンの「中央」ボタンを押します。
- ⑨日本語のメニューに戻りました。
- ⑩最後に一番下の「戻る」より「終了」を選択し、リモコンの「中央」ボタンを押して保存します。

6. 欠陥画素補正

カメラを長時間熱に露出すると白い点や黒い点ができます。このドット落ちを修正する機能です。通常は初期のまま使用します。

欠陥画素補正	
ア ▶ライブ欠陥画素補正 オート	オート / オフ / オン
イ STATIC DPC オン	オン / オフ
戻る	戻る

オート / オフ / オン
オン / オフ
戻る

アライブ欠陥画素補正

「オート」

「オフ」

「オン」: ライブ映像でのドット落ちを補正します。

ライブ欠陥画素補正	
a) ▶レベル ---80	「0 ~ 100」より選択（数値が大きいほど、修正効果も大きい）
戻る	戻る

「0 ~ 100」より選択（数値が大きいほど、修正効果も大きい）

イSTATIC DPC(白キズ補正)

「オフ」

「オン」: 白く出力されるドット落ちを補正します。

STATIC DPC	
a) ▶スタート	「CLOSE THE IRIS THEN PRESS SETKEY」→(中央)ボタンを押す
b) レベル ---5	「0 ~ 160」より選択（数値が大きいほど修正効果も大きい）
c) SENS-UP x8	「x2 ~ x30」より選択（数値が大きいほど映像の明るさがアップし、白点を修正）
d) AGC ---0	「0 ~ 8」より選択（数値が大きいほど白や赤の「点」が、より強調される）
戻る	戻る

「CLOSE THE IRIS THEN PRESS SETKEY」→(中央)ボタンを押す

「0 ~ 160」より選択（数値が大きいほど修正効果も大きい）

「x2 ~ x30」より選択（数値が大きいほど映像の明るさがアップし、白点を修正）

「0 ~ 8」より選択（数値が大きいほど白や赤の「点」が、より強調される）

メインメニュー

⑦スペシャル機能

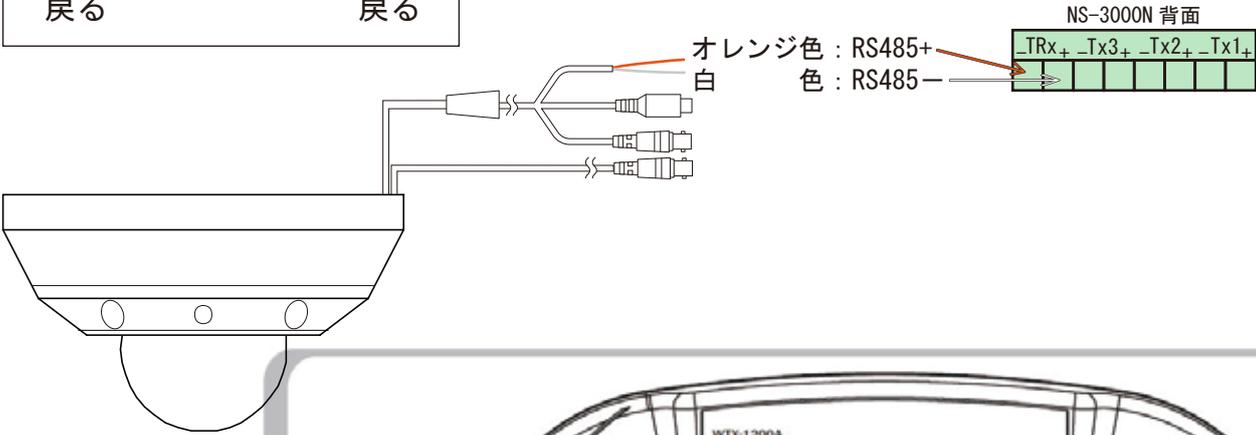
7. RS485

RS485	
▶カメラ ID	1
ID 表示	オフ
BAUDRATE	9600
戻る	戻る

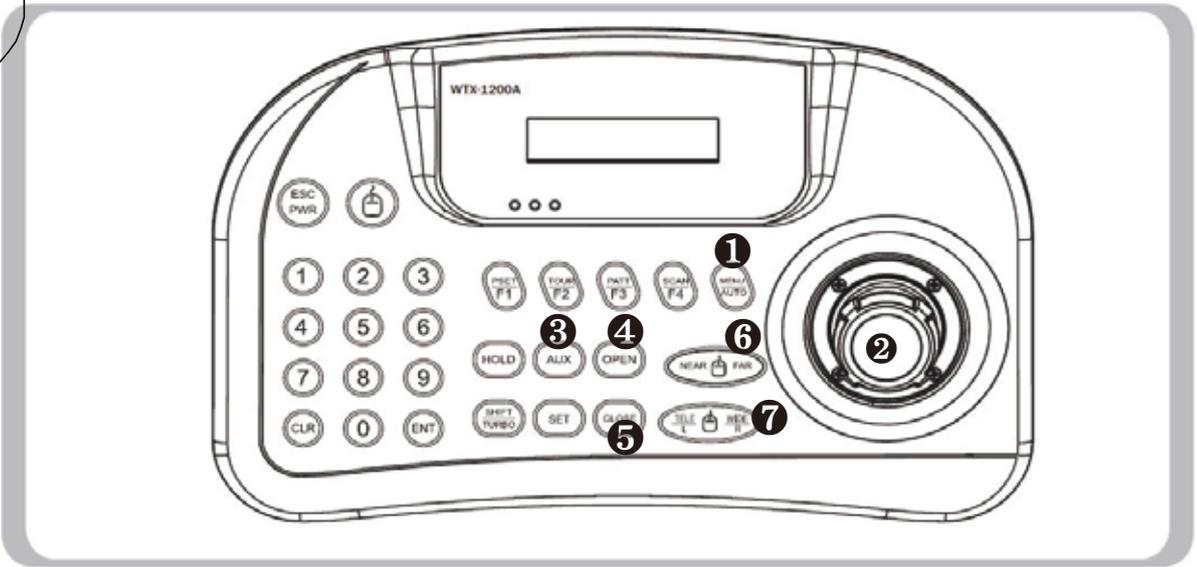
0 ~ 255 より ID を設定します。

オフ / オン ⇄ ID を画面に表示します。

コントローラーと同じ数値か確認します。



NS-3000N で



NS-3000N の電源を入れま

ポーレート をカメラに合わせて設定します。(NS-3000N の取扱説明書をご覧ください。)

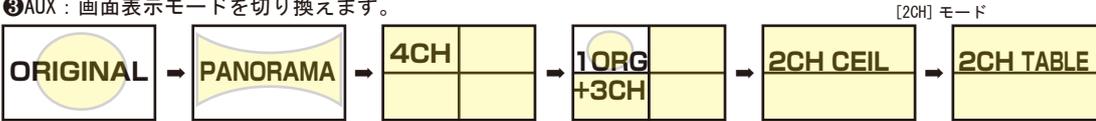
①MENU/AUTO : OSD メニューを表示 / 非表示します。項目の選択・決定をします。

②JOYSTICK : OSD メニューで左 / 右 / 上 / 下の操作をします。EXIT に移動し①を押すとメニューを閉じます。

[4CH] モードの PTZ 操作の時は、画面の映像を上下左右に移動します。

[2CH] モードの PTZ 操作の時は、画面の映像を左右に移動します。

③AUX : 画面表示モードを切り換えます。



④OPEN : ③で [PANORAMA] モードに切り換えてから④を押した場合。中央に ⬆⬆⬆ が表示され、②(上下左右)、⑦で PTZ 操作ができるようになります。

③で [4CH] モードに切り換えてから④を押した場合。中央に ⬆⬆⬆ が表示され、②(上下左右)、⑥⑦で PTZ 操作ができるようになります。

④を押す毎に CH が 1CH→2CH→3CH→4CH→と、切り換ります。

③で [2CH] モードに切換えてから④を押した場合。中央に ⬆⬆ が表示され、②(上下)で、PTZ 操作ができるようになります。



⑤CLOSE : PTZ 操作画面を閉じます。

⑥NEAR-FAR : [4CH] モードの時に、画面の映像を回転します。(NEAR : 時計反対方向 / FAR : 時計方向)

⑦TELE-WIDE : [4CH] と [PANORAMA] モードの時に、画面の映像のズームイン、ズームアウトができます。(TELE:Zoom In / WIDE:Zoom Out)

※1ORG+3CH モードは、[4CH] モードにて 2CH ~ 4CH を操作します。

8. VERSION カメラの現在のバージョンです。

メインメニュー

⑧調整

調整		
1.	▶シャープネス	---9
2.	モニター	LCD↵
3.	レンズシェーディング補正	オフ
	戻る	戻る

0-15
LCD↵/CRT↵
オフ / オン
戻る

1. シャープネス
「0～15」より設定します。

2. モニター
「LCD↵」

LCD		
Ⓐ	▶ガンマ	オート
①	ADAPT. LEVEL	---50
Ⓚ	青ゲイン	---75
Ⓛ	赤ゲイン	---75
	戻る	戻る

「オート」⇨「USER」⇨「USER+Y」
⇨「(明)0.45～1.00(暗)」より0.05ピッチで明るさの調整をします。
「0～100」モニターの調整をします。
「0～100」数値を上げると青味が強くなります。
「0～100」数値を上げると赤味が強くなります。

「CRT↵」

CRT		
Ⓐ	▶ブラックレベル	---+0
①	青ゲイン	---+0
Ⓚ	赤ゲイン	---+0
Ⓛ	戻る	戻る

「-30～+30」黒レベルを調整します。
「-50～+50」数値を上げると青味が強くなります。
「-50～+50」数値を上げると赤味が強くなります。

3. レンズシェーディング補正

「オン」: 均一な明るさの被写体を撮影する場合などで発生した、明るさのムラを補正します。
「オフ」: 補正しません。

⑧リセット

リセット		
1.	▶出荷設定値	リセット
	戻る	戻る

中央ボタンを押すとリセットされ、工場出荷時に設定が戻ります。
※言語が「英語」になります。

